

2016 春季生活闘争・妥結情報

2016. 3. 22 -第3号- 連合北海道 春季生活闘争本部

今週から第2回答ゾーンに突入し、道内中小・中堅組合の交渉が本格化。私鉄総連が本日、集団交渉実施も妥結せず。月例賃金の引き上げ、非正規の処遇改善により「広がり」「底上げ」を目指そう！

【交通労連 北海道西濃運輸】(妥結 18 号)

- 月例賃金 組合員ひとり平均 2,768円(1.09%)
(定昇 1,768円+ベア相当分 1,000円)
- 一時金 夏 前年実績+2万円 冬 前年実績+3万円

【紙パ 日本製紙道サポート労組】(妥結 19 号) 非公表

【紙パ 釧路 NP サポート労組】(妥結 20 号) 非公表

【電力総連 北電労組】(妥結 21 号) 非公表

【JR総連 JR北海道労組】【JR連合 JR北労組】(妥結 22、23 号)

- 月例賃金 組合員ひとり平均 5,550円(2.29%)
※ 49歳以下定昇相当分
- スタッフパートナー社員 夏季手当 10,000円加算(H28年度限り)

連合本部が3月18日発表した第1回回答集計(711組合)結果によると、回答額は6,341円、2.08%(昨年同期比▲1,156円・▲0.35ポイント)であったが、規模間格差は若干縮小している。また、非正規労働者の時給は単純平均で25.95円(昨年同期比+4.19円)、月給5,075円(昨年同期比+960円)と、正規労働者を上回る改善を果たしている。

北海道段階では、第1ゾーンで妥結した組合はUAゼンセン6組合など23組合となった。賃上げ回答・妥結額は、加重平均で7,412円(2.55%)、昨年同期比で+1,378円(+0.07%)となっており、UAゼンセン加盟6組合、JAM北海道加盟2組合を中心にベースアップを3年連続で獲得し、非正規労働者の賃金引き上げも正規労働者を上回る回答を引き出している。

「過年度物価上昇がゼロに近い中で、3年連続して月例賃金の改善原資を獲得したことは最大の成果」(神津連合会長談話)であり、今後の闘いを通して、世論や未組織労働者、労働組合のない経営者にも訴え、すべての労働者・地域への「広がり」「底上げ」を図ることによって、GDPの6割を占める個人消費の回復を通じたデフレ・スパイラルの反転につなげていかなければならない。

【組合規模別 賃上げ状況】

(2016年3月18日 連合北海道集計)

組合規模	加重平均(定昇・ベア込)	昨年実績(定昇・ベア込)	昨年比
300人未満	2,291円(1.29%)	2,828円(1.64%)	-537円(-0.35%)
300人以上	8,587円(2.58%)	6,309円(2.50%)	2,278円(0.08%)
合計	7,412円(2.55%)	6,034円(2.48%)	1,378円(0.07%)